

令和7年度・後期 議会モ二夕一事業報告書



一関市議会広聴広報委員会

【事業報告書の内容】

I. 議会モニターと議員の意見交換会（P2～P7）

II. 議会モニターから書面提出のあった意見等（P8～P12）



I. 議会モニターと議員の意見交換会

1. 開催概要

- (1) 開催日 令和8年3月26日（木）10：00～11：30
- (2) 場所 全員協議会室
- (3) 出席者 議会モニター4名、議員10名（議長、広聴広報委員）
- (4) 意見交換 班に分かれてのワークショップ（ワールドカフェ）
- 【テーマ】
- ① 議会の運営について
（議論を深める手法、会議進行の改善点）
 - ② 広報について
（議会だより、ホームページ等による情報発信）
 - ③ 広聴について
（市民と議員の懇談会、議会モニター制度の在り方）

2. 議会モニターからの主な発言内容

【 議会の運営について 】

- 毎回、同じような内容、質問の切り口が同様に活気が無い。
- 勉強不足、事前のヒアリングなども原因ではないか。
- ヒアリング箇所はカットして、本題についての議論をするべき。
- 女性議員を増員し、意見を聴くことも必要。(半々だと良い?)
- 質問の中に議員のバックグラウンド(家庭、生活など)が見えてこない。
- 質問者と当局の他にも意見が出せれば、盛り上がるのでは?
- 1つの質問に対し、多数の議員の意見がある議論だと、より議論が深まる。
- 一問一答方式について、議員は再度勉強すべき。
- 当局からの1回目の答弁書を、議員に事前に渡すと良いのでは。
- 答弁時間が長いと感じる。
- 片道方式(議員 30 分、当局 30 分)もある。
- 通告書(書面)の情報がシンプルだと、モニター(市民の方)が何の一般質問なのかイメージがわからない。

- 30 分以上ないと質疑応答のキャッチボールをする時間が足りなくなってしまう。
- 議員の質をあげるためにも、当局も議員に協力するほうがよい。
- 目的は市をよくすること、当局と議員がお互いに協力することが大切。
- 答弁がはっきりしていない、モヤッとしている。
- 何度も同じ質問をくり返している。
- 副市長の答弁も聞きたい。
- 一般質問が「質問のため」の一般質問になっている。
- 調べればわかることを議会で聞くのはいかがでしょうか。
- 個人の疑問を問う場所ではない。
- 目先（数年）だけではなく長期（20～30 年後）のことを考えて欲しい。
- 議員は市民の、市政に関する関心、背景、現実を見てからの行動をしてほしい。
- 議員に思想、ビジョンはあるのか？
- 納得いけば終わるはずだが、だらだらやっているように思える。
- 現在「議論」になっていない、結論まで行ってほしい。

【 広報について（議会だより、ホームページ） 】

- 議会だよりは読みやすいと感じている。
(単語帳、二次元バーコードを活用しているのも良い。)
- 表紙のイラストも味があって良い。
- 小さい文字の箇所は読みづらいかも。
- ホームページ・SNS 等はあまり見ない。
- 手にとりやすくなったが、読みやすさが、もっと良くなるとよいのだが。
- 表紙などが変わって読むきっかけになった。
- 表紙をとっておきたい。
- フォント、レイアウトの工夫を。
- 記事の順番を毎回変えても良いかも。次の頁に何が書いてあるか気になるかも。
- 「話題性」について検討を。
- 身近な人が取材されると読むよね。
- 無差別に見てもらえるようにしたら。
- 勝手に目に入るような工夫を。

- この例をみて議員がどうしたら人を集められるのか勉強して→一関はどうするのか？
- 年配者はホームページに載せても見ない。
- 基本計画は具体的にどうするのかがない、議員が討議して方向性を決めていくべきだ。
- 週2～3回図書館に行き、質問する前によく調べてほしい。
- ホームページの更新等を市民に予告することが必要。
- 一関のように本（冊子）にしなくてもよいのではないかな。
- 二次元バーコードを使ったことはない。
- 広報を通じて訴えるのが広報だ。
- 未来の一関、こういう一関にしたいを発信する。これをするためにも会派を超えて取り組むべき。



【 広聴について（市民と議員の懇談会） 】

- 場所は市役所より市民センターだと集まりやすい。
- 民間の会場だと気軽に集まれるかな？
- 人数や方法など、しっかり計画して実施する。
- ワールドカフェはやりやすい。
- 場所が知らない場所だとちょっとワクワクするかも。
- メインテーマが欲しい。（子供、農業、就職など。）
- メインテーマがあると人を誘いやすい。
- 議論は深まる一方でかたよりがあるかも。
- なんでも OK は一番難しい→話したい人が一方的に話すかも。
- 市議会議員の誰が来るかアナウンスがあるといいかも。
- 議員の出身地域と異なる市民の方と懇談会だと厳しい意見交換ができる。
- 感心のある方は議会を傍聴するが、そうでない方に興味を持ってもらう為には議会開催について知らせること。
- 頻繁に（月に1度）市民と議員の無談会を開催すると良い。
- 日程やシーズンについて、冬だと農業の方は参加しやすい。

Ⅱ．議会モニターから書面提出のあった意見等（～３月末）

議会モニターからは、書面（文書やメール）をもって随時、意見等の提出があります。

以下は本会議についていただいた意見等です。

（※一部要約）

■No.1 ■意見区分：本会議

○ 市当局と議員に望みたいこと

- ・ 市の答弁者と議員皆さんには、どなたに向かって問いかけ、話しかけ、理解して欲しいのかを再確認していただきたい。

確かに質疑の場所は議会の本会議場であり、議場に居るのは市長以下関係者、そして議員皆さん、傍聴者などではありますが、議場は市民の皆さんが、心で参加・注視していることを忘れないで欲しい。

→ 両者には、すべての市民が議場に参加しているのだということを前提として、的確、明確な質問・答弁をしてほしい。

→ そのためには、質問や答弁などの在り方ややり方（話し方を含めて）の勉強・研究をしてほしい。

※ 議会活性化が図られ、必ずや市民の目と耳・心が議員・議会・市に向けられることは間違いないと思います。前向きなご検討をよろしくお願いします。

■No.2 ■意見区分：一関市議会だより

- ・ 今回も「次の通常会議の予定」「ネット配信二次元コード」が裏表紙にあり目につきやすく便利。
- ・ 「新しい任期がスタート」顔写真つきで親近感がわいた。
 - 傍聴にきていた方が、それが良かったと議会だよりを持参していた。

■No.3 ■意見区分：本会議

○ 再質問の内容とやり方について

当局の答弁を聞いた直後の再質問ということもあって、議員の質問内容が意味不明若しくは不明確な内容も見受けられる。

とりあえず初めの質問は、当局の答弁の再確認的な質問が多いように感じます。

→ 事前のヒアリング等でどんなことを答弁するのか予測がつくと思われるので、それらを前提に質問内容を組み立てて欲しい。併せて、市当局の答弁も明確ではなく、最初の答弁の繰り返しの内容も合わさって、長過ぎます。

→ 議員・当局両者に的確な質問や答弁を期待し、実のある活発な本会議になることを強く望みたい。

※ 単に持ち時間を消化するための質問であれば、その場で切り上げ終了してほしい。

→ 時間短縮・効率的な議会運営につながる。

■No.4 ■意見区分：本会議

○ 12月通常会議一般質問について

通常会議を傍聴して毎回感じていることですが、市当局に対する議員の質問が、内容を含めて単調で突っ込み不足であると思う。

例えば、ある事業の計画と実績、その評価等をヒアリングのごとく聞くだけに止まっていること。再質問も、その確認の再確認するだけに止まっており、中には、持ち時間の消化的な質問も見受けられ時間がもったいない気がする時がある。

→ 事業など詳細は事前の事務局のヒアリングで聞き取り、その内容を前提にして、議員はその結果等を踏まえてどうするのかなど、一步踏み込んだ当局の考え・取り組みを引き出してほしい、いわゆる提案型質問を提案したい。

→ 議員には、質問の在り方・やり方、質問の話術等を勉強・研究してほしい。

■No.5 ■意見区分：本会議

○ 2月18日の代表質問について

- ・ 各会派の代表質問ということで、一般・個人質問との違いを確認しようと質問に耳を傾けていましたが、判りかねました。
→ 代表質問を設けた趣旨はどんなことでしょうか。また一般・個人質問との違いはどんなところにあるのでしょうか。説明をいただければ幸いです。

- ・ 各代表の質問の前段・前置きは必要ないと思われます。現在の社会経済情勢は、報道や市長の所信などでも話されており周知のことです。即、質問に入ってもよろしいと思います。
→ 時間の節約など議会運営の効率化につながると思います。

○ 一般質問について

- ・ 各議員も、回を重ねるごとに内容を含めて質問の仕方や答弁の引き出し方について、傍聴する方・市民の皆さんにも理解が深まるような形になってきたような感じがしています。
→ 更なる議員の自己研鑽をお願いしたいと思います。
- ・ 新議員の質問は、明確で分かりやすく、市側の答弁を上手く引き出せたように思いました。
→ 経験を重ね明確な答弁につなげるよう、先輩議員への刺激にもなるよう研鑽・経験を積んでほしいと願います。

○ 一般質問の市側答弁時の着席時の態度・行動について

- ・ 議員の一人が、再質問の席で、市の答弁を聞いている間、筆記用具を指で回すなど、気になる行為が見受けられ、目障り感を否めませんでした。
→ いかにも、そんなことは分かっているよと言わんばかりの行為で非常に違和感を覚えました。ご本人は、普段から何気なくやっていることと思いますが、議場では止めたほうが良いと強く感じました。（子どもたちや若者にとっては、普段行っていることで、気にはならないと思いますが）TPOを考えて議場に臨んで欲しいと思います。

■No.6 ■意見区分：本会議

- ・ 市民に信頼される議論？と思う場面あり。
 - ・ ヒアリングしたことで、答えは決まっておわり。
 - またですか？ここまでですか？
 - ・ ○○弱者、○○格差、よりよくスピードアップし解決を望む。
 - ・ 質問の時間があまったら終わってよい。
- 後発地震情報が発令されて
- ・ 議会最中に遭遇したら職員、議員はどのように反応するのかな？
 - ・ せめて落下物などから身を守る体制としてヘルメットでも議会足元に装備。
 - ・ なにも対策してなかったように見え、危機管理をうたがった。

■No.7 ■意見区分：本会議・予算特別委員会

- 総括質疑について
- ・ 総括質疑に関する注意や要件を議長から話されましたが、果たして、一般の皆さんには理解されたのでしょうか。私的には、先の会派の代表質問や個人質問との差異などはよく理解できませんでした。
 - ・ 確かに、予算に関することについての質疑であることは、質問の前に予算書のページや内容は説明されるのでわかりましたが、実際の質問の中身は、会派や個人質問との違いが、ほぼわかりませんでした。
 - 総括質疑の対象となるものは何か、しっかりと定義して、その他は分科会や委員会などで詳細を検討、議論してはどうかと感じました。予算額の多寡で総括質疑の対象を決められませんが、少額の予算を取り上げ、評価や取組の方向性など、行政の考え方を問う場面が多くみられました。（議長からの注意事項で対象外の一つであったと記憶しております）
 - さらに議員の自己研鑽をお願いしたいと思います。

■No.8 ■意見区分：一関市議会だより

- ・ 特集の語ろう市議会×高校生で、「市議会に期待することは」の問いがありましたが、高校生の回答は、議会というよりも市、行政に対するものともとれた。
- ・ 高校生の皆さんには、議会の役割は深く理解できていないかもしれません。きちんと説明の上、議会への期待を聞き取ってほしいと感じました。

■No.9 ■意見区分：本会議

- ・ レクチャーも答弁も済み、さらに意見を求めていることが疑問でした。
(これまでにありましたね)
- ・ 運転中、夜８時にFMあすもから流れてきました。この時間帯に聞くことができることを初めて知り、私だけが知らなかったのか、もっと多くの方に知ってもらうことが必要と思った。
- ・ 以前と同じ質問内容なら答弁も変化なしと予測し、更なる違う角度からの一手を期待する。
- ・ 予算審議、優先順位に納得できるよう願う。

■No.10 ■意見区分：一関市議会だより

- ・ 読みやすく二次元バーコードも大活躍。

■No.11 ■意見区分：本会議

- ・ こども食堂・移住定住への支援について、いずれも子供、若い人が、住みやすい一関をつくっていく上では必要と思いました。
- ・ どの政策も予算の面は大変だと感じますがPRの方法を考えてほしい。